

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年6月15日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美
レジメン名	カルケンス+ガザイバ(2~6コース目)		
疾患名	慢性リンパ性白血病	適応の備考	CD20陽性のCLL/SLL
適応分類	進行・再発、寛解導入		カルケンス+ガザイバ(1コース目)後
1コース日数	28 日間	総コース数	5 コース
抗がん剤投与量・投与日	ガザイバ1000mg/body day1、カルケンス200mg/body day1-28		
催吐性リスク	最小度		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
	点滴静注		/																													
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	ガザイバ注	1000 mg / body	下記	●																											
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
	点滴静注		/																													
	経口投与	ボラミン錠2mg	1-3 錠 / body		●																											
		ジクロフェナク錠25mg	1 錠 / body		●																											
ガザイバ投与の30分前																																
	経口投与	カルケンス100mg	2 Cap / body	分2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		100mg 1日2回 経口投与 適宜減量																														

【投与上の注意】

ガザイバ: 総液量250mLに調製。

ガザイバ: 0. 2または0. 22μmのインラインフィルターを使用して投与する。

ガザイバ: ② 1コースのday2以降: 前回の投与でinfusion reactionが発現しなかった場合、ボラミンは省略可。

③ 1コースのday2以降: 前回の投与でGrade 1又は2のinfusion reactionが発現した場合、ボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。

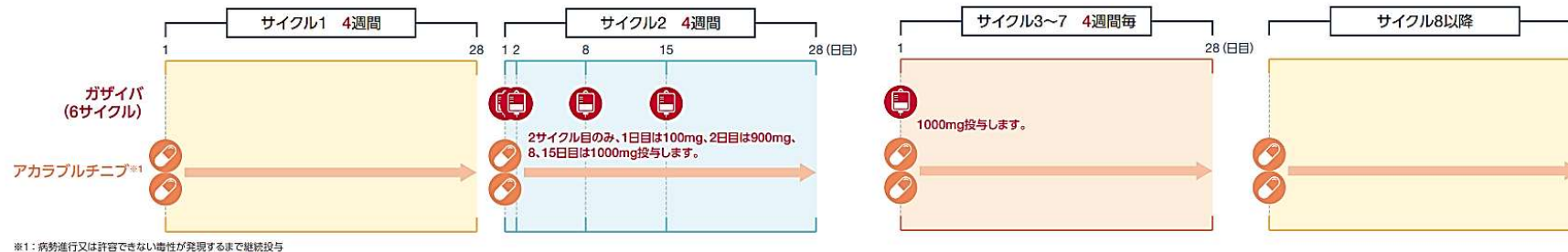
④ 前回の投与でGrade3のinfusion reactionが発現、又は投与前のリンパ球数が $25 \times 10^9 / L$ を超える場合: 前投薬としてボラミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠、プレドニン注100mgを投与。
前投薬のプレドニン注の代わりに内服投与する場合は、プレドニン錠(5)20錠を別にオーダ。

ガザイバ: 投与速度【ガザイバ投与量1000mg】 ①前回投与でinfusion reactionが発現しなかった場合

25mL/h×30分で開始、50mL/h×30分、75mL/h×30分、残りは100mL/hとする。

ガザイバ: 投与速度【ガザイバ投与量1000mg】 ②前回投与でinfusion reaction発現時

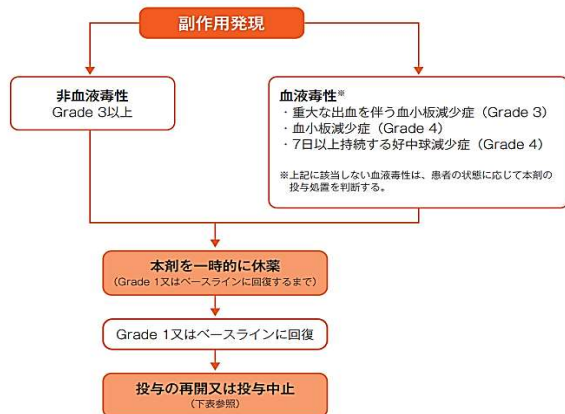
12.5mL/h×30分、25mL/h×30分、37.5mL/h×30分、50mL/h×30分、62.5mL/h×30分、75mL/h×30分、87.5mL/h×30分、残りは100mL/hとする。



【減量基準】
※カルケンス

● 副作用発現時の対応

副作用が発現した場合には、以下のとおり、本剤の一時的な休薬、投与中止又は用量調節を行ってください。



用量調節の目安

発現回数	回復後の再開時投与量
1又は2回	1回100 mgを1日2回
3回	1回100 mgを1日1回
4回	投与中止